

ニュース

みんなでつくろう！  
しまやけべいさま  
下宅部遺跡はっけんのもり

第97号【'09-8月号】

発行：下宅部遺跡  
はっけんのもりを育てる会  
東村山市諏訪町1-6-3  
TEL：042-396-3800  
発行日：平成21年8月14日

第五回水生生物調査報告

「下宅部遺跡はっけんのもり」復元河道

石橋 康夫

第五回の「はっけんのもり」復元河道での水生生物調査は、今年から一ヶ月早めて七月十八日（土）に行ないました。理由は、近所の子供たちが、夏休み中より普通の時の土日の方が集まりやすいだろうという推定からでしたが、やはり市報を見たお母さんが、未就学の子供たち三人を伴って参加し、近所の腕白小学生たち五人も参加して賑やかでした。ただ連絡不充分が原因で、他の協力団体からの参加はトトロのふるさと財団からの一名のみで、こちらは不振でした。

〔参加者〕

下宅部遺跡はっけんのもりを育てる会（阿由葉、石川、伊藤、白鳥、西山、山本の各氏と石橋）、トトロのふるさと財団（深澤氏）、一般（お母さんと未就学児三人、近所の小学生五人）の合計十七名。

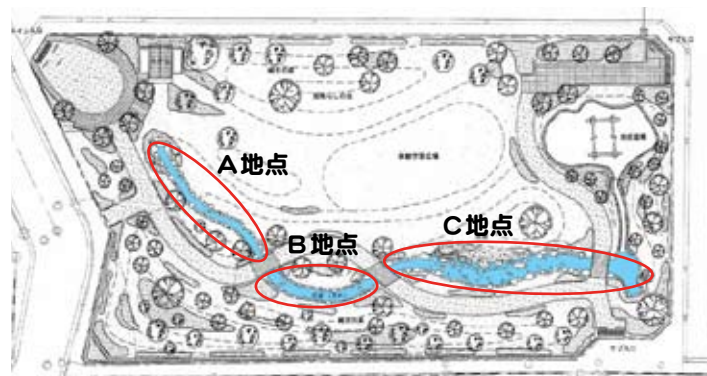
〔調査方法〕

まず調査区域をA・B・Cの三地点に分け、前日（十七日）の夕刻、会員有志が、昨年を使用したペットボトルを加工・作成した「ビンドウ」を三地点それぞれの水中に仕掛けた。「ビンドウ」は、二ボシとザリガニ用として市販されているエサ（この調査では「エサ」と表示）の二種類それぞれと、その両方をセットしたものを、その他に何も入れないものを準備した。

その「ビンドウ」を調査当日引き上げて、入っていた生物の種類と数を調べた。その後、参加者それぞれのやり

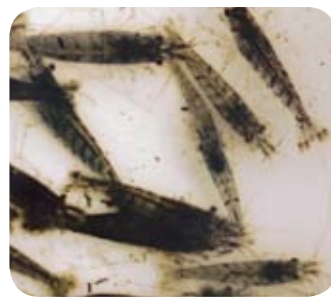
〔調査結果〕

表の通りであるが、繁殖しているエビについては「ヌマエビ」とした。トビゲラの一種の幼虫と思われるもの他に、B地点とC地点に同定できないもの一種があり、これは「アメンボ」みたいな水に浮かんで行動する一ミリ位の生物である。写真も撮れないため、



|     | ①ニボシ            | ②エサ             | ③ニボシ+エサ               | ④エサなし            | アミ捕獲                   |
|-----|-----------------|-----------------|-----------------------|------------------|------------------------|
| A地点 | ヌマエビ 40         | ヌマエビ 12         | ヌマエビ 22               | なし               | ヌマエビ15                 |
| B地点 | ヌマエビ 4<br>生物 X2 | ヌマエビ 2<br>生物 X3 | ヌマエビ 1<br>生物 X2       | ヌマエビ 4<br>生物 X15 | ヌマエビ20                 |
| C地点 | なし              | 生物 X1           | ヌマエビ 11<br>アメリカザリガニ 2 | ヌマエビ 4           | ニホンアカガエル1<br>アメリカザリガニ5 |

調査位置と調査結果



ヌマエビ  
抱卵個体も多数確認



アメリカザリガニ  
10ミリより小さい子供

「はっけんのもりを育てる会」とは、下宅部遺跡を後世に残すためにつくられた遺跡公園「下宅部遺跡はっけんのもり」（所在地 東村山市多摩湖町4丁目3番地）の管理・運営と、下宅部遺跡および考古学一般についての知識を広めることを目的としています。

そのための具体的な活動としては、「下宅部遺跡はっけんのもり」の除草・清掃、縄文体験を行う開園周年イベント「お誕生日会」と「東京都文

化財ウィーク」参加イベント。縄文土器づくり教室とその時に作成した土器を焼く縄文土器の野焼き。日帰り研修見学会と宿泊研修。はっけんのもりの生物調査や縄文食の材料となるトングリ拾い。遺跡に関する専門家の先生を招いての講演会。そして会の運営のための会議などを行っています。また、有志による土器部会・アングン部会があり、小学校への出前授業のお手伝いや、はっけんのもりでの案内も行っています。



生物 X

ネイチャースコープで見た形を手書きの絵とした（表では生物Xとする。絵は下宅部深澤氏による）。

〔調査成果についての検討〕

1、今までの調査に比べ、全体として数が少ないのは、このところ復元河道に人が有り、アメリカザリガニを

釣る人や、釣りエサとしてヌマエビを採取する人があり、また何らかの人為的影響もあるかと思われる。特にアメリカザリガニが「ビンドウ」に入っているのが少ないように感じられるが、手で探ってみる感じではそんなに減少しているとは思われない。

2、トンボのヤゴが見つからない。

先般の北山小学校のプール清掃では千匹を超える数がいたとされるが、この河道には何故いないのか。

3、二ホンアカガエルは八国山、北山公園で繁殖したものが移動して来たものであろう。

4、来年もまた継続して調査しよう。

## 縄文食づくりの4の4

去年の10月に新宿御苑でドングリ拾いをしてから10カ月が経ちました。マテバシイとスタジイはまだ食べられませんが、今年も10月にドングリ拾いをしますが、場所は狭山丘陵を予定しています。そして、マテバシイとスタジイだけではなく、コナラやアカガシ、クヌギなども集めます。

実は、縄文食で使っているマテバシイとスタジイは、下宅部遺跡からは出土していません。縄文時代ではもう少

し西の方へ行かないと生えていなかたよつです。でも、アク抜きをしなくていいので、どこの施設でも縄文食にはこれを使っています。

出土しているのは、コナラ・ミズナラ・ナラガシワ・クヌギ・アカガシ・ツクバネガシです。これらはアク抜きをしないと食べられません。クヌギは手強いですが、他は水晒しと煮沸で何とかなります。今年も、アク抜きをして縄文食を作ってみましょう。（千葉）

## 育てる会の仲間たち

～会員紹介その十～

1 名前 山本俊一

2 住所 東村山市野口町

3 特技・興味あること

・歩きが主のバードウォッチング。

・布草履作りとその道具作り。

・さき織り（箱織り）とその道具作り。

4 育てる会に対する思い

家の近くに遺跡があった。遺跡の中に住んでいるという意識は育てる会に入会するまでなかった。遺跡を守り維持する事は大変な努力が必要と思う。私も会に育てられながら、自分に出来る事で協力したい。



## 育てる会 会員募集

みなさんも育てる会の仲間たちと一緒に、下宅部遺跡はっけんのもりを成長させませんか？

正会員：会費年間1200円

通信会員：会費80円切手12枚

お申し込み：ふるさと歴史館

☎042(396)3800まで

## 育てる会

### 今後の予定

8月22日（土）午前7時から

除草・清掃作業（はっけんのもり）

8月23日（日）午前9時30分から

土器教室窯焼（八国山たいけんの里）

8月27日（水）午後1時30分から

アンギン編み（八国山たいけんの里）

9月2日（水）午後7時30分から

定例検討会議（ふるさと歴史館）

9月6日（日）午後1時30分から

縄文土器作り（八国山たいけんの里）

9月10日（水）午後1時30分から

アンギン編み（八国山たいけんの里）

9月12日（土）午前7時から

除草・清掃作業（はっけんのもり）

9月25日（金）～26日（土）

第89回育てる会「宿泊研修」

（福島県会津若松市・白河市）

## お知らせ！

次号「ニュース みんなでつくろう！下宅部遺跡はっけんのもり」98号の発行は、10月14日（水）です。9月は休刊します。